

東京水道～企業の森(ネーミングライツ)「JMTの森」での活動を実施しました



JMTの森の様子



間伐作業の様子

当社は、2020年8月に東京都水道局が進める「みんなで作る水源の森実施計画」に賛同し、「東京水道～企業の森(ネーミングライツ)」の協定を締結しました。

東京都水道局では「民有林の積極的購入」と「多様な主体と連携した森づくり」という二つの具体的な取り組みを示した「みんなで作る水源の森実施計画」を策定し、企業や団体等と連携した水源の森づくりを進めています。その中で、「東京水道～企業の森(ネーミングライツ)」は参画企業と協定を締結した上で、水道水源林の一部の森林にネーミングライツを設定し、企業と東京都水道局が協働しながら森づくりを行う取り組みです。

この度、11月17日(火)に当社の環境ワーキンググループ所属職員が、「JMTの森」にて間伐作業を行いました。環境ワーキンググループでは、日々、社内外の清掃活動や節電・節水の促進、エコキャップ回収などをはじめとした環境保全活動を計画および実施しています。

現在の「JMTの森」は、植栽した木が成長しつつあります。しかし、このまま放置すると森の中が混み合っ、木の成長が悪くなったり、森の中に入る光が少なくなり、地表に草木が育ちにくくなったりします。そのため、適度な間伐作業を行い、森の中に光を入れ、また、間伐した木を丸太にし、森の斜面に平行に片付けることで土砂流れを防ぎ、森がより元気になるよう活動をいたしました。

今後も、活動を継続し、社会における環境保全活動にも積極的に取り組んでまいります。

以上